

その作業、危険です!

トラクター

農作業事故の事例と対策

事故事例

①ほ場進入路での転落事故

概要

トラクターでほ場に向かったところ、草が茂り、ほ場進入路が良く見えないまま進入してしまい、法面から機械ごと転落し、頭部強打により死亡。

考えられる原因

- ①ほ場進入路に対して斜めに進入した
- ②農道の環境整備ができていなかった
- ③安全フレームやシートベルト・ヘルメットを正しく装備・装着していなかった



②整備中の巻き込まれ事故

概要

畑をロータリーで耕していたとき、詰まりがあり、作業補助員が除去していたところ、いきなり回転し始め、服の袖が挟まり体ごと巻き込まれて、死亡。

考えられる原因

- ①点検時にエンジンを停止していなかった
- ②服装をきちんと整えていなかったため、作業機に巻き込まれてしまった

対策



環境整備・安全装備はしっかりしてますか？

- 事前に危険箇所を確認し、障害物の除去等を行きましょう。
- トラクターに乗る時はヘルメット・シートベルトを装着しましょう。
- トラクターは安全フレーム（もしくは安全キャブ）が装着されたものを使用しましょう。安全フレームは折りたたまず、しっかり立てた状態で走行しましょう。



✓ ヘルメット



✓ 安全フレーム



✓ シートベルト



シートベルト・ヘルメットの着用

安全フレーム付きトラクターの利用



点検・整備は必ずエンジンを止めて！

- トラクター・作業機の点検整備時は必ずエンジンを切り、駐車ブレーキをかけ、油圧ロックをした状態で平坦地で行いましょう。
- トラクターを始動・発進するときは人や障害物がないか周囲の安全を確認しましょう。作業員が近くにいる時は、離れた位置から作業開始の合図を行きましょう。



刈払機

事故事例

① 飛散物との衝突事故

概要

作業中に鉄製のアングルに刈刃が当たってチップが欠け飛び、目を負傷

作業前に環境の点検をしていなかった



② 傾斜地・法面での事故

概要

法面の草刈り作業中に足が滑り刈払機ごと転がり落ち、足を負傷

- ・スパイク靴を履いていなかった
- ・長時間の作業で疲弊していた



対策



- ① 刈刃、飛散物防護カバー、肩掛けバンドやハンドルを正しく装着
- ② 作業前には地面の異物・障害物を除去
- ③ 作業時は15m以内に人を近づけない
- ④ 傾斜地での作業は足場を確認
- ⑤ 刈刃への巻き付きは必ずエンジン停止
- ⑥ 定期的な休憩

ヒヤリハット共有

今すぐできる、安全対策

農業現場で起きたヒヤリハットの事例を集めて、原因・対策を考えることで重大事故を防ぎましょう！

1 事例を洗い出しましょう！

作業や農業機械の種類ごとに、5W1H (いつ、どこで、だれが、何をしたら、どうなった) を意識し、事例を書き出しましょう。

例

倉庫で従業員の一人がトラクターの点検をしている時に、作業機に潜り込んで作業し、頭をぶつけた。



2 原因と対策を考えましょう！

①人的要因②環境③機械や用具④作業方法ごとに、原因と対策を考えてみましょう。

例

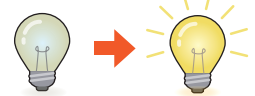
- ①ヘルメットをかぶっていないかった
- ②倉庫の照明が暗く、点検箇所が良く見えなかった
- ③作業機の突起箇所にカバーがなかった
- ④十分に作業機の位置を高くあげていなかった

3 すぐに実行しましょう！

すぐに対策できるものから取り組みましょう。

例

- ☑ 作業時にはヘルメットをかぶる
- ☑ 点検時には、作業機を高い位置に上げ、スタンド等で固定してから作業する
- ☑ 突起箇所のカバーを購入する
- ☑ 倉庫の電球を更新する



ヒヤリハットを共有することで、自分だけでは気づけなかった危険個所に気づくだけでなく、日頃から危険個所を探すなどの安全意識向上につながります。家族、従業員、周辺の農業者の方々と話し合いの機会を設けてみましょう！

研修お疲れ様でした！このほか、農作業安全対策に関する資料をまとめている農林水産省のHPを是非ご確認ください。

また、研修資料の感想について、アンケートの御協力をお願いします。



農林水産省HP



アンケート

コンバイン

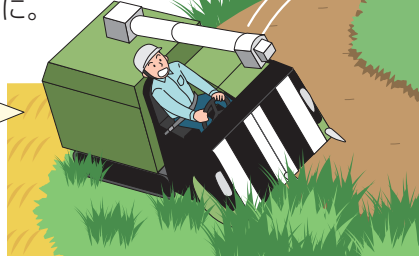
事故事例

① 農道からの転落事故

概要

ほ場に入ろうとした際、草で覆われた路肩を踏み外して約1.5m転落し、コンバインの下敷きに。

危険個所がわからなかった

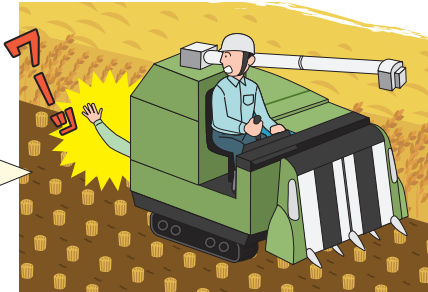


② 補助作業者の轢かれ事故

概要

運転者がコンバインをバックさせた際に、後ろの作業者を轢いてしまった。

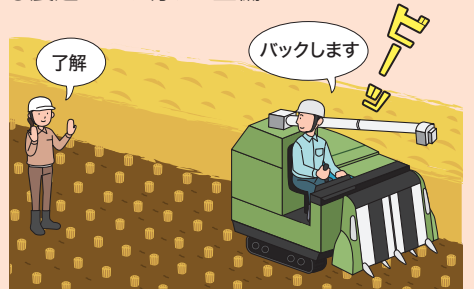
作業者同士の意思疎通ができていなかった



対策



- 路肩が明確になるように草刈りを行う
- ポール等を設置して路肩を見える化する
- 農道のすみ切りを整備する



- 作業開始前に合図のルールを確認する
- 運転者の死角箇所を事前に確認する
- 機械の稼働前にホーン等で合図を送る
- 稼働中は作業補助者を近づけない

ヒヤリハット共有

今すぐできる、安全対策



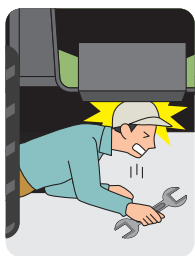
農業現場で起きたヒヤリハットの事例を集めて、原因・対策を考えることで重大事故を防ぎましょう！

1 事例を洗い出しましょう！

作業や農業機械の種類ごとに、5W1H（いつ、どこで、だれが、何をしたら、どうなった）を意識し、事例を書き出しましょう。

例

倉庫で従業員の一人がトラクターの点検をしている時に、作業機に潜り込んで作業し、頭をぶつけた。



2 原因と対策を考えましょう！

①人的要因②環境③機械や用具④作業方法ごとに、原因と対策を考えてみましょう。

例

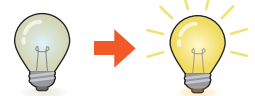
- ①ヘルメットをかぶっていないかった
- ②倉庫の照明が暗く、点検箇所が良く見えなかった
- ③作業機の突起箇所にカバーがなかった
- ④十分に作業機の位置を高くあげていなかった

3 すぐに実行しましょう！

すぐに対策できるものから取り組みましょう。

例

- 作業時にはヘルメットをかぶる
- 点検時には、作業機を高い位置に上げ、スタンド等で固定してから作業する
- 突起箇所のカバーを購入する
- 倉庫の電球を更新する



ヒヤリハットを共有することで、自分だけでは気づけなかった危険個所に気づくだけでなく、日頃から危険個所を探すなどの安全意識向上につながります。家族、従業員、周辺の農業者の方々と話し合いの機会を設けてみましょう！

研修お疲れ様でした！このほか、農作業安全対策に関する資料をまとめている農林水産省のHPを是非ご確認ください。

また、研修資料の感想について、アンケートの御協力をお願いします。



農林水産省HP



アンケート